平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名　大和自動車交通株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9082　URL　http://www.daiwaj.com/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 新倉　能文
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 加藤　雄二郎　TEL 03-6757-7164

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,508	△0.4	479	△1.5	204	△36.7	57	△96.1
24年3月期第2四半期	8,543	△10.7	486	49.4	323	225.7	1,490	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　19百万円　(△98.6%)　24年3月期第2四半期　1,447百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.78	―
24年3月期第2四半期	149.45	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,518	3,761	23.9
24年3月期	15,973	3,757	23.2

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　3,707百万円　24年3月期　3,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	1.50	―	1.50	3.00
25年3月期	―	1.50			
25年3月期(予想)			―	1.50	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	0.3	800	7.1	550	16.3	340	△82.4	34.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	10,500,000 株	24年3月期	10,500,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	529,205 株	24年3月期	529,205 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	9,970,795 株	24年3月期2Q	9,971,817 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……8
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）セグメント情報等 ……10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要や政策効果により一部に緩やかな回復基調がみられましたが、円高の定着及び世界経済の減速がやや強まり、全体としては厳しい環境の中で推移しました。

ハイヤー・タクシー業界におきましても、景気停滞による法人及び個人の利用減少が続き、厳しい環境のもとにありました。このような情勢のもと、タクシー部門は業務提携契約を締結した中央無線タクシー協同組合加盟24社の車両の内、車体の塗り替えなど準備の整った車両（平成24年９月末日現在1,741台中1,628台）が、当社の商標（マーク等）を使用して、運行を順次開始しております。この提携により、お客様の利便性を向上し、提携各社との相互の発展を目指してまいります。

当第２四半期連結累計期間の売上高は8,508百万円と前年同四半期比0.4％の減収となり、経費面において賃貸不動産の増加による固定資産減価償却費の増加があり、全部門における業務の効率化をはかりましたが、営業利益は479百万円（前年同四半期比1.5％減）となりました。シンジケートローン手数料122百万円を営業外費用に計上し、経常利益は204百万円（前年同四半期比36.7％減）となり、四半期純利益は57百万円（前年同四半期比96.1％減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①旅客自動車運送事業

旅客自動車運送事業では、ハイヤー売上高は得意先企業の経費節減と他社との低価格競争の影響により、タクシー売上高は乗務員の営業指導を継続して実施し収益向上をはかりましたが、乗務員不足による稼動率の低下により、旅客自動車運送事業売上高は6,277百万円（前年同四半期比0.8％減）、営業利益は348百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

②不動産事業

不動産事業では、平成23年12月に竣工しましたテラス府中（東京都府中市）や平成24年3月に購入しました飯田橋デルタビル（東京都文京区）による賃貸不動産の増加もありましたが、中央大和ビルのテナント転出により、不動産事業売上高は244百万円（前年同四半期比14.9％減）、営業損失は36百万円（前年同四半期は営業利益27百万円）となりました。

③販売事業

自動車燃料販売部門では、タクシー業界の減車等の影響を受け販売数量が減少する中で、人件費や諸経費の削減に努めるとともに、顧客へのきめ細かいサービスの提供を推進しております。金属製品製造販売部門は、生産効率向上効果とともに、ＩＳＯ9001を継続取得し製品の品質向上を進めております。その結果、販売事業売上高は1,987百万円（前年同四半期比3.1％増）、営業利益は166百万円（前年同四半期比144.0％増）となりました。

（注）売上高に消費税等は含まれておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間の総資産は15,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ454百万円の減少となりました。これは有形固定資産が384百万円増加するなどの結果、固定資産が344百万円増加したものの、現金及び預金が721百万円減少するなどの結果、流動資産が799百万円減少したことによるものであります。

また負債は前連結会計年度末に比べ459百万円減少の11,757百万円となりました。これは長期借入金が4,858百万円増加するなどの結果、固定負債が5,242百万円増加したものの、短期借入金が4,719百万円減少するなどの結果、流動負債が5,702百万円減少したことによるものであります。

純資産は四半期純利益57百万円を計上した影響から、前連結会計年度末に比べ4百万円増加の3,761百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.2％から23.9％に増加しております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、燃料費の動向など先行き不透明なこともあり、平成24年５月15日公表の予想数値を据え置いております。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更） 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,376	1,655
受取手形及び売掛金	1,426	1,353
有価証券	0	0
販売用不動産	3	3
商品及び製品	36	29
仕掛品	2	0
原材料及び貯蔵品	34	34
その他	382	385
貸倒引当金	△24	△23
流動資産合計	4,238	3,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,837	3,746
土地	6,213	6,168
建設仮勘定	118	219
その他（純額）	947	1,366
有形固定資産合計	11,116	11,500
無形固定資産		
その他	30	26
無形固定資産合計	30	26
投資その他の資産		
その他	703	668
貸倒引当金	△115	△115
投資その他の資産合計	587	552
固定資産合計	11,734	12,079
資産合計	15,973	15,518
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	791	625
短期借入金	5,804	1,085
未払法人税等	768	196
賞与引当金	79	61
その他	1,597	1,370
流動負債合計	9,041	3,339
固定負債		
社債	35	30
長期借入金	847	5,705
退職給付引当金	745	807
役員退職慰労引当金	165	90
資産除去債務	225	226
負ののれん	1	1
その他	1,154	1,556
固定負債合計	3,174	8,417
負債合計	12,216	11,757

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	525	525
資本剰余金	2	2
利益剰余金	3,428	3,471
自己株式	△264	△264
株主資本合計	3,691	3,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	△27
その他の包括利益累計額合計	9	△27
少数株主持分	55	54
純資産合計	3,757	3,761
負債純資産合計	15,973	15,518

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	8,543	8,508
売上原価	7,445	7,477
売上総利益	1,097	1,030
販売費及び一般管理費	611	551
営業利益	486	479
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	4	5
負ののれん償却額	1	0
受取車検費用	8	5
その他	14	15
営業外収益合計	29	28
営業外費用		
支払利息	99	95
退職給付会計基準変更時差異の処理額	76	76
シンジケートローン手数料	5	122
その他	12	8
営業外費用合計	192	302
経常利益	323	204
特別利益		
固定資産売却益	2,157	0
負ののれん発生益	6	－
特別利益合計	2,164	0
特別損失		
固定資産除却損	48	9
固定資産減損損失	104	－
固定資産売却損	－	8
固定資産売却関連損	－	60
その他	5	－
特別損失合計	159	77
税金等調整前四半期純利益	2,328	127
法人税、住民税及び事業税	723	79
法人税等調整額	114	△8
法人税等合計	837	70
少数株主損益調整前四半期純利益	1,490	56
少数株主利益又は少数株主損失（△）	0	△0
四半期純利益	1,490	57

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,490	56
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	△37
その他の包括利益合計	△43	△37
四半期包括利益	1,447	19
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,447	20
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,328	127
減価償却費	197	312
減損損失	104	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	1	△18
退職給付引当金の増減額（△は減少）	38	61
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1	△74
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	99	95
シンジケートローン手数料	－	122
固定資産除売却損益（△は益）	△2,109	16
固定資産売却関連損	－	60
売上債権の増減額（△は増加）	51	72
たな卸資産の増減額（△は増加）	9	9
前払費用の増減額（△は増加）	17	21
仕入債務の増減額（△は減少）	△32	△166
未払消費税等の増減額（△は減少）	75	88
未払費用の増減額（△は減少）	△107	△142
その他	6	△45
小計	682	532
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△99	△95
シンジケートローン手数料の支払額	－	△122
固定資産売却関連費用の支払額	－	△60
法人税等の支払額	△417	△645
営業活動によるキャッシュ・フロー	171	△383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△58	△43
定期預金の払戻による収入	54	31
短期貸付金の純増減額（△は増加）	4	2
固定資産の取得による支出	△178	△347
固定資産の売却による収入	2,595	47
長期貸付けによる支出	△2	△5
長期貸付金の回収による収入	3	2
投資有価証券の取得による支出	△6	△7
その他	△12	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,398	△332

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△85	35
長期借入れによる収入	275	5,430
長期借入金の返済による支出	△2,654	△5,326
社債の発行による収入	50	－
社債の償還による支出	△10	△15
リース債務の返済による支出	△59	△126
配当金の支払額	△14	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,499	△17
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	70	△733
現金及び現金同等物の期首残高	2,228	2,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,298	1,553

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	旅客自動車運送事業	不動産事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,329	287	1,926	8,543	－	8,543
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	46	557	626	△626	－
計	6,351	333	2,484	9,170	△626	8,543
セグメント利益	389	27	68	485	0	486

(注)１　調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「旅客自動車運送事業」セグメントにおいて、売却見通しの変化に伴い減損を実施しており、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては104百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

負ののれん発生益に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	旅客自動車運送事業	不動産事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,277	244	1,987	8,508	－	8,508
セグメント間の内部売上高又は振替高	23	32	532	588	△588	－
計	6,300	276	2,519	9,097	△588	8,508
セグメント利益又は損失(△)	348	△36	166	478	0	479

(注)１　調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。
　　２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによるセグメント損益に与える影響は軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。